

陣織の表面積は約 3500 m²に及ぶ。外壁を支える鉄骨の構造体は無限を意味するメビウスの輪の様に3次元鏡面だらけの構造体は、躯体だけ眺めるとジェットコースターのように見える。曲面の鉄骨は制作も組み立ても、高い施工精度を求められる。現場に搬入する前に、別な場所で仮組して建て方の手順や精度を確認している。

(出典 大阪公立大学 [有恒] Vol. 27 2024. 4
日経 XTECH 2024. 07. 25)

【祝】 廣内映美選手 パリ五輪出場

大阪市立大学平成31年卒業の廣内映美選手が、ローイングの軽量級ダブルスカルでパリ五輪出場選手に決定。

廣内映美選手は、高校までは水泳部で活躍され、大学に進学後にローイングを始めました。

卒業後、現在は明治安田生命の選手として活躍中。

本年4月、韓国で行われたローイングのアジア・オセアニア予選の男女ダブルスカルで、日本のペアが優勝し、男女ともにパリ大会の代表となった。

2024パリオリンピックでは、大石綾美選手(アイリスオーヤマ)とペアを組み、ローイング女子ダブルスカル(軽量級)に出場し、7月28日予選2組、7月29日敗者復活戦2組、7月31日決勝C組で健闘しました。



パリオリンピック ローイング
女子ダブルスカル(軽量級) 左側が廣内選手

第 20 回居住環境デザインフォーラム

2024 年 7 月 6 日 (土)

学術情報総合センター(杉本キャンパス)

第 20 回居住環境デザインフォーラムが 7 月 6 日(土)学情センターで開催され、生活科学部の居住環境学科の卒業設計の優秀作品の展示がありました。



本年度のテーマは「私を生かす建築」で、住まいやライフスタイルをはじめ、まちとの関わり方など、人々が心地よく毎日を「生きる」ことを支えるであり、私たちの個性や特技を「活かす」ことができる場所だというテーマで、模型作品と図面が展示されていました。豊田の山村地域の地域再生、貴志川の空家活用、寺院の現代建築、大正区の昭和山付近の街作り、天王寺動物園、音楽交流施設、北加賀屋の街づくり等学生たちの細かく分かり易い模型と図面の力作を展示し、これから社会での活躍が期待されます。私、高橋も建築の仕事をして来ましたので興味深く見学しました。

(高橋保夫 退職者会事務局長)